

En Sight FAQ

計算機機能の利用方法

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

はじめに

計算機(Calculator)機能は、組み込み関数、関数電卓を利用して既存のデータをもとに**新規の変数を生成**する機能です。

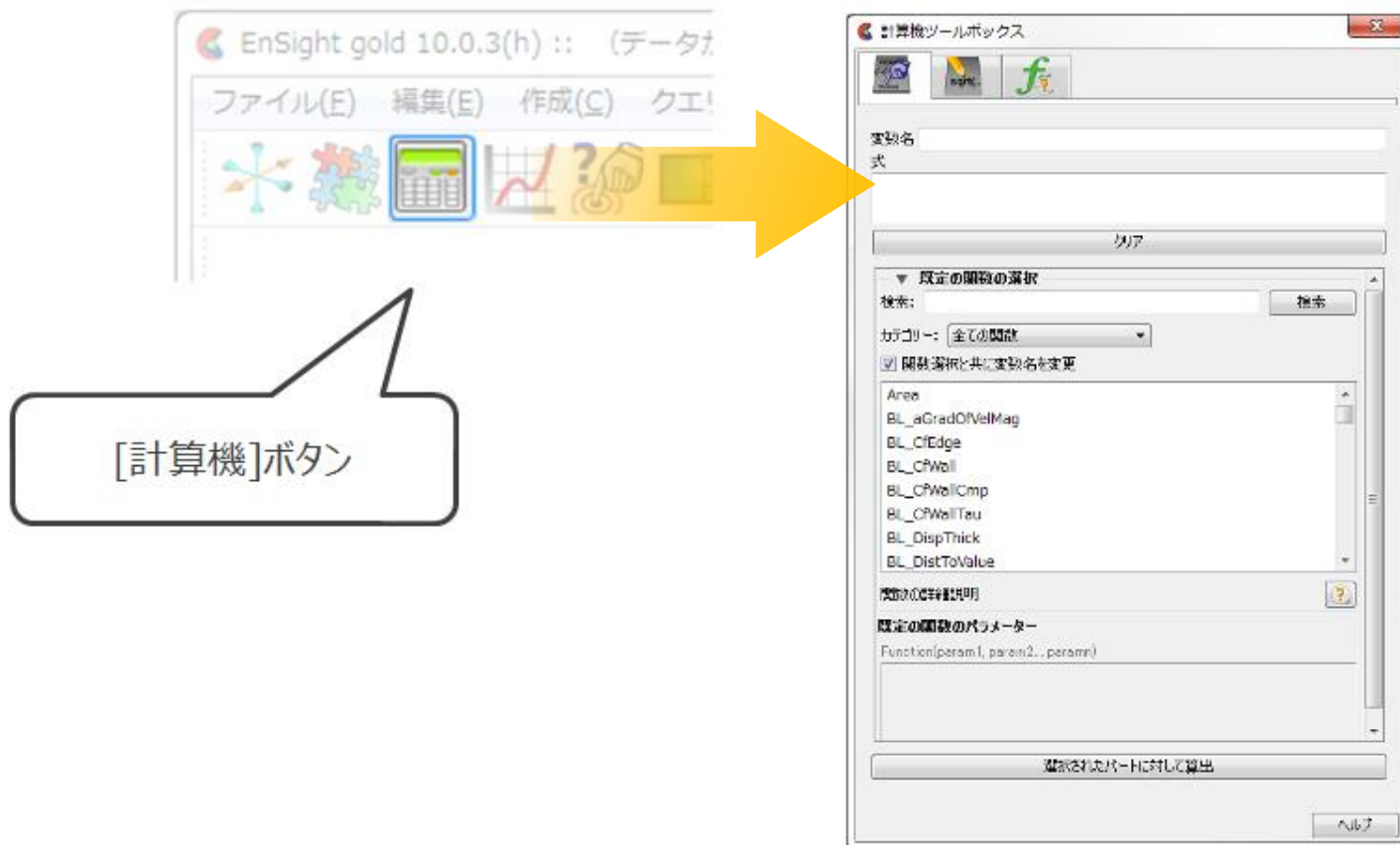
目次

- ・計算機ツールボックスの表示
- ・計算機機能の概要
 - 機能I. 既定の関数
 - 機能II. 独自の関数を作成
 - 機能III. 変数の情報
- ・力の計算機について

計算機ツールボックスの表示

計算機機能は、計算機ツールボックスによって操作されます。

[計算機]ボタンを押下して計算機ツールボックスを表示してみましょう



計算機機能の概要

計算機機能には、以下の3つのサブ機能があります。



左から・・・

- ・既定の関数 (Predefined Functions)
- ・独自の関数を作成 (Build Your Own Functions)
- ・変数の情報 (Variable Information)

組み込み関数

関数電卓

リストで選択された変数の情報表示

上記の各サブ機能については、次ページ以降で説明します。



力の計算機は、他の場所に移動しました。
未頁にて補足で説明しています。

機能I. 既定の関数

組み込み関数を利用できます。

実行手順：

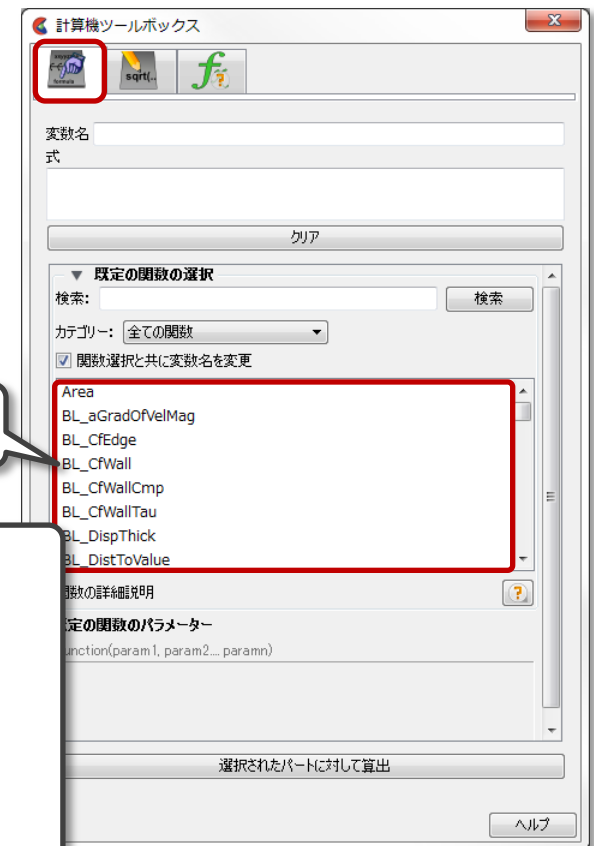
- ①対象となるパートを選択
- ②利用する関数を下側の関数リストから選択
- ③必要なパラメータ入力 ※パラメータ入力欄は、関数リストの下に表示されます。
- ④一番下の[選択されたパートに対して算出]ボタンを押下

→新規変数が作成されます。

組み込み関数リスト

組み込み関数の一覧と各関数の詳細については、**計算機関数リファレンス**
(弊社EnSightトップページ・メニュー[サービス・サポート]→[利用方法]→[変数の生成])
http://www.cybernet.co.jp/ensight/documents/pdf/support/usage/EnSight_CalFuncReference.pdf

もしくは、**UserManual.pdf** の「**7.3 Variable Creation**」を御覧ください。



機能II. 独自の関数を作成

関数電卓を利用できます。

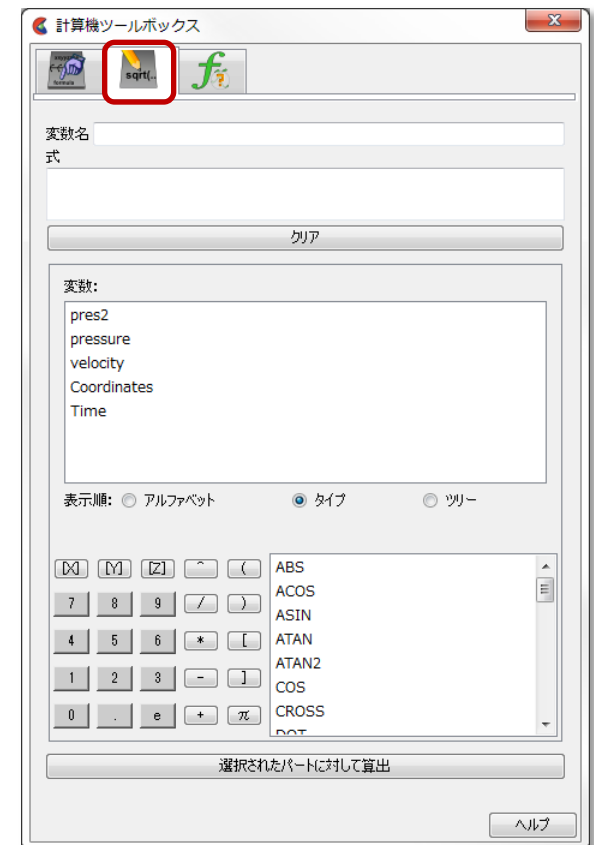
実行手順：

- ①対象となるパートを選択
- ②[変数名]に作成される変数名を入力
- ③[式]に計算式を入力
- ④一番下の[選択されたパートに対して算出]ボタンを押下

→新規変数が作成されます。



節点値と要素値を利用して計算が行われる場合、
節点値は要素中心で平均化されます。
また、生成される変数は、要素値となります。

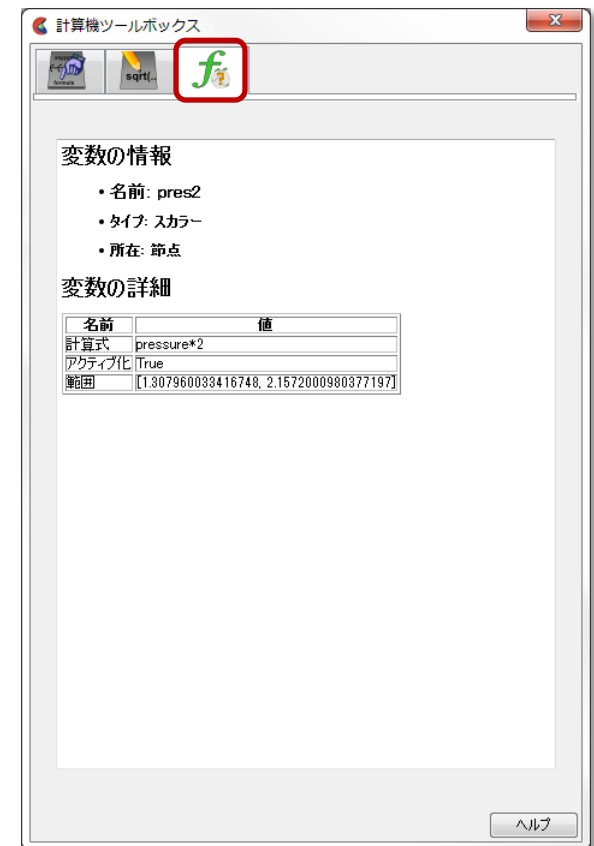


機能III. 変数の情報

変数リストで選択されている変数の情報を表示できます。

変数リスト内の変数をダブルクリックすることで、本パネルが開き、以下の情報が表示されます。

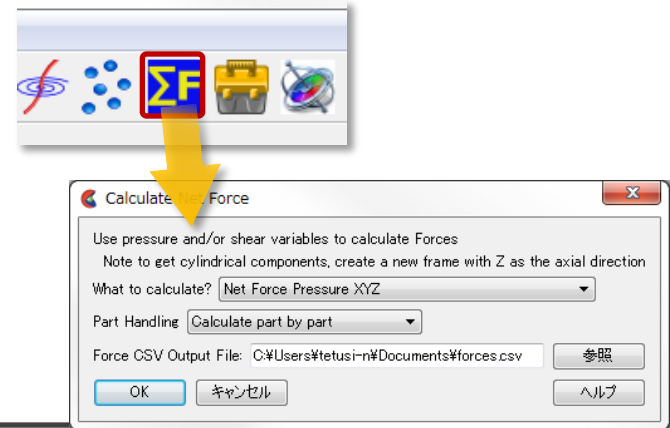
- 変数名
- 型
- 定義位置
- アクティブ化
- 計算式 (作成された変数のみ)
- 最小
- 最大値



「力の計算機」について

物体表面に働く正味の力を計算するためのモードです。

以前は計算機機能に含まれていましたが、現在は独立した機能「正味の力(Net Force)」として機能ツールバー上に配置されています。



利用方法の詳細につきましては、以下のドキュメントを御覧ください。



[可視化ソリューション]→[汎用可視化]→[EnSight]→[サービス・サポート]→
[利用方法]→[変数の生成]→「EnSight 補足資料_正味の力の計算.pdf」

EnSight Webページ :

<http://www.cybernet.co.jp/ensight/support/usage.html>

ご利用上の注意：

本書中の解説、及び、図、表は文書による許可なしに、その全体または一部を無断で使用、複製することはできません。

このドキュメントに記載されている事柄は、将来予告無しに変更される事があります。なお、サイバネットでは記載内容に関して正確であることに努めていますが、本書の利用に関して生じた損害については法律上のいかなる責任も負いません。

EnSight は米国 CEI 社の商標です。
上記以外の製品名も一般に開発各社の商標、あるいは登録商標です。

サイバネットシステム株式会社